



芽室町で農業体験



小学生県外研修派遣 報告



8月18日(金)から22日(火)の5日間、町内の小学生13人が県外研修として北海道芽室町を訪れました。

芽室町ではホームステイをして、芽室町の方々と交流を深めました。ホームステイ先では、農業や農場での体験をしました。研修生の皆さんはふだん体験できない貴重な体験や広大な北海道を満喫して、多くのことが得られたことと思います。

ここで研修生の皆さんの感想を紹介します。

北海道芽室町県外研修に参加して

揖斐小学校 高橋那奈子

8月18日に役場からみんなに見送られて北海道に出発。新千歳空港へ着いたら残念なことに雨でしたが最近の揖斐川町の暑さに比べて涼しいのに驚きました。芽室町ではホストファミリーの高橋さんと岩間さんにお世話になりました。広い牧場や牛を見せてもらったり、ジャガイモ掘りやトマト、ピーマンなどの野菜採りをしました。また、虹鱒釣りもさせてもらい、とても楽しかったです。5日間よい体験ができ、思い出に残る夏休みになりました。

北海道芽室町研修を終えて

揖斐小学校 渡辺麻莉子

私はこの四泊五日で色々なことを学び、色々なことを体験しました。この中でも特に心に残ったことが二つあります。北海道へ行くのは初めてだったので、この「北海道芽室町研修」に参加できたことが、まず一つ目に心に残ったことです。

二つ目は、ホームステイをしたことです。農場体験など揖斐川町では体験することができないようなことを体験できてとても良かったです。今回の研修は、私にとって大切な思い出となりました。

芽室町は

大和小学校 橋本怜実

私が芽室町に行ってみてすごいと思ったことは二つあります。一つ目は広い大地です。家と家は一キロメートル以上はなれているそうです。その間はすべて畑でした。その中を通る道は真つすぐできれいでしたが、すごく長かったです。二つ目は布絵本です。小さい子が家族と楽しく読めるようにマジックテープやボタンで取りはずしができるようになっていました。揖斐川町にもあったらおもしろいと思います。いい勉強ができました。

県外研修に参加して

大和小学校 太田拓也

僕が研修で一番心に残ったのはスイートコーンの収穫の手伝いです。ホイールローダに乗らしてもらいました。ぼくは最初スイートコーンの株を一度に全部とって、それで家でスイートコーンだけをとって箱につめると思っていたけど、手でスイートコーンだけをホイールローダのバケットに入れるとは思いませんでした。北海道の畑はとても広くスイートコーンの収穫はいい物だけをとるのでたいへんだと思いました。

「友好都市」芽室へ

北方小学校 渡邊こと乃

ジャガイモやトウキビの収穫に追われる土屋さんのお宅にホームステイさせてもらいました。お忙しいのに優しく歓迎していただき本当に感謝しています。見た事も無い大きな農機に乗せてもらったり、収穫を手伝ったり、全て楽しい体験でした。この宝物の5日間を与えてもらった事に心から感謝しています。芽室との交流がどんどん広く深くなったらいいなあと思っています。

この研修に参加して

清水小学校 安達拓郎

初めてのホームステイは、不安と期待でいっぱいでした。大型機械を使ったとうもろこしの収穫は、僕も運転しましたが、真つすぐ進むのがむずかしかったです。手作業でやる箱づめは、重さ別に分けてつめていきました。箱づくりも箱づめも、なれてくるとコツがつかめてきました。

ホストファミリーも芽室町の方々もやさしく親切にしてくださいました。僕はこの研修で学んだたくさんの方々のことを、これからの生活に生かしたいです。

貴重な体験をありがとう

小島小学校 荻野愛理

北海道研修に参加して私は、芽室町にあるジャガイモ生産農家の土屋さんのお宅でホームステイをさせていただきました。私は、朝8時から夕方6時半まで土屋さん家族と一緒に大きな機械で掘り上げられたジャガイモの選別をしました。一日中働くという事は初めてで、手足や目がつかれてとっても大変でした。でもとれたてのジャガイモはほくほくしておいしかったです。働く大変さと喜びを味わった貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。

楽しかった農業体験

谷汲小学校 若原加奈

芽室町への県外研修に行っていました。まず、畑が広いのにおどろきました。農業体験した小川さんの家では、小麦、ビート、種用ジャガイモなど25haほど作っているそうです。その畑で、ジャガイモ掘りや、トウキビの皮むきなどの作業をやりました。つかれたけど、とても楽しい体験ができてよかったです。と思います。

北海道研修について

長瀬小学校 高橋那津

8月18日から四泊五日で北海道芽室町へ行きました。芽室町では、渡道三代目のお宅にホームステイをし、農作業を体験しました。

畑の広さ、農作物の種類の多さにおどろきました。皆さんにも親切にしてくださいてうれしかったです。

働くことの大変さ・やさしさを忘れず体験した事を学び自分から進んで行動したいです。

思い出深い北海道研修

春日小学校 小寺裕之

僕の北海道研修は、初めての事ばかりでした。北海道に行ったのはもちろんのこと、飛行機や親とはなれての5日間、よその人の家にとめてもらった事などさまざまな事を体験しました。北海道の畑は僕の想像以上に広く、びっくりしました。

この北海道研修を終え農業の大変さや喜びそして、人の温かさなどを実感することが出来ました。この体験を大切にこれからの生活に役立てていきたいと思っています。

北海道芽室町研修報告

久瀬小学校 高橋依実

北海道芽室町研修に出発する前は、不安な気持ちでいっぱいでした。でも、北海道の広大な土地を見るとすぐそんな気持ちはなくなり、ワクワクしてきました。

ホームステイ先では、とても優しくしていただき、楽しい時を過ごせました。私は、橋本さんの畑で農業体験しましたが、北海道の大きさを目と手と身体で感じました。

農業体験を行って

養基小学校 野原陽子

私は北海道研修に行って、いろいろな事を学びました。大きな畑で育った作物を、みんなで協力して収穫することの大変さや、収穫した後のわけ方などが分かりました。私がホームステイした農家では、ジャガイモの収穫を行いました。土とジャガイモをわける作業で手が痛かったけどがんばってやりました。

5日間、楽しく活動することができました。

北海道研修に参加して

養基小学校 並河祐貴

北海道は広大でその広さに圧倒されました。また、それに伴う機械も大きく見たことがなかったのでも説明されるまで分かりませんでした。揖斐川町の先人はこの土地を耕し、畑にし、作物が収穫できるまでにされました。機械が無かった昔、どんなに苦勞をされただろうと思います。北海道は、大規模農業で、小麦は人工衛星を使って生育や、収穫時期を見極めているそうです。最先端の農業だと思いました。今回このような研修に参加させていただいた事を関係者の皆様に感謝いたします。

引率者代表

教育委員長 高橋正壽

芽室の地名は「メモオロ：冷水の湧き出るところ」の意からといわれている。明治34年に岐阜開拓団として揖斐川町からも多くの方々が入植され、「艱難辛苦」を経て実り豊かな大地をつくり上げてきた。芽室町には、岐阜県人会があり、うち40人が揖斐川町出身である。会長の坂内出身の平野さんは、お別れの朝「時代が変わっても郷土への思いは変わらない」と話された。この体験によって児童たちが、町づくり、両町の連携を担ってくれることを念じる次第です。